

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2012/09/25

Vol.26

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) http://togu.seesaa.net/ (ブログ)

平成 24 年第 3 回印西市議会定例会報告 (1)

いつもお世話になっております。印西市議会第3回定例会(9月議会)は、10月3日(水)迄の会期にて行われています。(現在、一般質問が終了し、本会議、決算審査特別委員会、予算審査特別委員会、常任委員会が開催されています。)

9/10(月曜日)に一般質問に立ちました。 以下、市当局への質問と回答です。

1. 印西クリーンセンター移転問題の今後について

7月8日(日)に実施された印西市長選挙で当選した板倉市長は「クリーンセンターの白紙撤回」を最大の公約として市民に提示して選挙戦を戦い、勝利しましたが、今後どのように「移転問題」に取り組んでいくつもりか。

(1) 印西市長として「白紙撤回」をどのような手順をとり、どのように市民に提示していくのか。

【回答/市長】白紙撤回につきましては、今後、印西地区環境整備事業組合管理者に千葉ニュータウン9住区(泉・多々羅田地先)への移転計画の白紙撤回を申し入れ、その後、正副管理者会議での協議等を経て、正式に白紙撤回されるものと考えております。また、市民への提示につきましては、印西地区環境整備事業組合でも情報提供されると思いますが、市といたしましても広報紙やホームページ等で、情報提供してまいりたいと考えております。

【ぐんじとしのりから解説】私のほかにも多くの議員がこのクリーンセンターの移転問題を取りあげ、板倉市長が回答をされていましたが、そもそも論から言って、クリーンセンターの移転事業は、どこの自治体の事業なのでしょうか。……印西市長にも再質問を行い、回答をもらいましたが、**当該事業は「環境整備事業組合」の事業であり、印西市の事業ではないのです。** そのために、最初の回答にあったとおりに印西市長の公約と事業の白紙撤回は直結せずに「手続き」を経ての組合議会としての白紙撤回発表が公表されなくてはなりません。

一方ではスピード感をもって仕事を行うと議会での答弁で応えているにもかかわらず、一月経過しても事業主体である「環境整備事業組合」への白紙撤回の正式な申し入れがないどころか、印西市長として白井市長や栄町長への説明もやっと最近あったと聞きます。(マスコミで発表されたのは「雑談」だそうです。) = **皆様ご承知の通り、私自身も今回のクリーンセンター移転問題には反対であり、慎重な審議を求めるなど、共同歩調をとってきました。** しかし、市長選挙後の対応についてあまりにもスピードが遅く、構成自治体の首長など関係者への説明も進んでいないために非常に心配しています。

環境整備事業組合議会の全員協議会開催(召集)を求めました = なぜ開催を求めたのか?

本年8月7日付、新聞報道によると、印西市市長選挙で当選された板倉正直氏が互選により印西地区環境整備事業組合の管理者となった旨の報道がありましたが、同時に、副管理者の伊沢史生白井市長、岡田正市栄町長に対し、組合が決めた次期ごみ処理施設移転計画について「白紙撤回したい」*と伝えたことを明らかにしたことの報道もありました。しかし、**この件については、組合議員に対して事後も一切説明がなく、発言の真意について、どのような立場で発言されたのか、また組合管理者として、今後の事業運営に対してどのように事業遂行を行っていくつもりか全くわかりません。**(同時に副管理者(伊沢白井市市長、岡田栄町町長)もこの件について発言をされているようですが、突然の発言についてのとまどいも見え隠れしています。) *「雑談」の発言だそうです。

現状は、時間がないとの理由で全員協議会の開催は実現していません。そのため、10月中旬に予定されている「組合議会」に至るまで、環境整備事業組合の事業をチェックすべき環境整備事業組合議員に対して、何ら説明がないという事態になっています。これでいいのでしょうか。

(2) 今後について、「ごみ減量計画」を見直していくとの考えが提示されているが、具体的にいつまでにどのような形で「ごみ減量計画」を市民に提示していくのか。

【回答／市長】今後について、「ごみ減量計画」を見直していくとの考えが提示されているが、具体的にいつまでにどのような形で「ごみ減量計画」を市民に提示していくのか。についてお答えいたします。第2次印西市ごみ減量計画につきましては、パブリックコメントの実施も含め市民を中心とした印西市廃棄物減量等推進審議会から答申をいただき、本年3月に策定したもので、市民の意見が反映された内容であり、尊重すべき計画であると認識しております。

しかしながら、ごみの減量化を迅速かつ強力に推進するためには、減量計画における施策、事業をできるだけ前倒しをして実施しなければならないのと同時に減量計画にない施策についても取り入れていく必要があるという強い思いから、選挙公約におきましては「ごみ減量計画の練り直し」という表現に至ったものでございます。今後は、第2次印西市ごみ減量計画を基本としてスピード感をもって実施するのは勿論のこと、ごみ減量化の先進自治体への視察を行い、実効性のある施策・事業につきましては、積極的に取り入れ、ごみの減量化に取り組んでまいりたいと考えておりますので、御理解をいただきたいと思っております。

次に(3)第二回定例会で市議会としては「広く地域住民の意向を踏まえた次期廃棄物処理計画の検討を強く求める請願書」を採択したが、印西市政としてはこの請願項目の内容をどのように捉え、今後の検討につなげていくのか。

【回答／市長】請願項目における住民意見を聴取し、意見を取り入れるということは、今までの計画等の策定においても、意見を聴取し反映させてきており、重要であると考えております。尚、今後の次期中間処理施設整備等にかかわる事業計画の策定におきましても、「市民目線」ということを念頭に住民の意見を聴取し、事業計画に反映させていかなければならないと考えております。

【ぐんじとしのりから皆様へ】板倉市長の回答に対して、私からは強く市民目線の観点で「徹底的に情報公開を進めること」と「市民主体で(市民が)クリーンセンターの移転問題にかかわれる組織の設置」を求めました。

請願の紹介議員となりました。

「印西クリーンセンターゴミ処理施設について 住民と行政のコンセンサスをつくるため、公募による住民(市民)検討委員会の設置を求める請願」を紹介議員として受けました。請願の審査は21日(金)午後1時30分～印西市議会委員会室【5階】で予定されています。

請願項目の抜粋) 以下のとおり議会として市長に要望していただくことをお願いいたします。

- 1 公募により広範な市民が参加した市民検討委員会を設置する。
- 2 同委員会は、市民自身が結論をつくる。
- 3 印西地区環境整備事業組合議会及び同組合管理者と連携して、資料や構成する各市町の情報等を共有し、方針の作成に誤りの生じないよう努力する。

請願文全文は、以下に記載をしました。

(ぐんじとしのり ブログ 8/30付 <http://toгу.seesaa.net/archives/20120830-1.html>)

印西地区環境整備事業組合議会が開催されます。

組合の管理者が新印西市長である板倉正直氏に代わっての最初の組合議会が10月11日(木)に予定されています。組合議員でもある私、ぐんじとしのりは通告に基いた一般質問を通告し、白紙撤回後の「次期中間処理施設整備計画」や「廃棄物処理計画」について他を問う予定です。

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。(随時更新しています)
市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しくお願ひします。

ぐんじとしのり